

卒業制作「木彫時計を作ろう！」(図画工作)

石川県 小松市立犬丸小学校(旧:小松市立串小学校) 谷口 一登

授業のねらい

6年生の3学期といえば、卒業の時期です。卒業に向けて、毎年3学期の図工は「卒業制作」に取り掛かるのですが、本市では「木彫時計を個人で作る」という学校が多いです。これはこれまでの彫刻の学習を生かすということと、自分だけのオリジナルの時計を作り、小学校卒業後も長く使っていけるという利点があります。また、最後に艶出しのワックスをかけるのですが、彫刻が上手な子は非常に見栄えがしますし、あまり得意でない子も、それなりに上手に見えるということから多くの学校で取り入れられています。



デジタルコンテンツからの「子どもたちの学び」

彫刻を始めるにあたり、意外なことに「正しい彫刻刀の使い方」を知っている子が少ないことに驚かされます。中学年で初めて彫刻刀を使い、毎年木版画などの学習はしているのですが、年に1回ぐらいしか使わないため忘れてしまうのです。

そこで、「彫刻刀の使い方」というデジタルコンテンツを作成しました。「切り出し」「中丸刀・小丸刀」「三角刀」「平刀」というよく使う4種類の彫刻刀の持ち方から彫り方まで、実際に木彫時計で使用する模様を使って説明しています。授業の導入時に見せ、分からない子や間違った使い方をしていない子には個別に見せてやるとよいと思います。

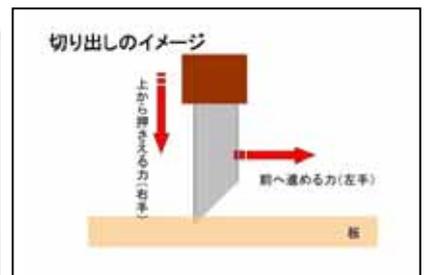
また、それぞれの彫刻刀を使った模様の彫り方も動画や静止画を使って見せ、子どもに自分達のゴールをイメージさせるにはデジタルコンテンツは大変有効な手段だと思えます。



教材作成のポイント

彫刻刀の使い方は 実際に見せるのが一番ですが、小さくて手元がなかなか見えません。そこでデジタルコンテンツで拡大して見せるのですが、その際に分かりやすいよう角度を変えて彫る様子を撮影してあります。

また、分かりにくい力の入れ方は、イメージ図を使って説明できるようにしてあります。



授業の流れ

1. 導入 (2 ~ 3 時間)

まず、木彫時計とはどのような物を作るのか、完成形をデジタルコンテンツで見せ、イメージを作らせます。また、彫刻刀の使い方を復習するため、「彫刻刀の使い方」という動画コンテンツを見せます。

続けて練習用の板(葉書サイズの物)を使い、直線の引き方、製図の仕方を学びます。実際に時計に彫刻する模様の一部を書き、彫刻刀を使い、練習用の板を彫っていきます。

この彫りの練習は基本になりますので、しっかりと出来るまで指導します。

難しい模様は、その書き方を Gif アニメにしてあります。一斉指導をした後、分からない児童は個別に見ると書き方が再確認できます。

2. 製図 (2 ~ 3 時間)

時計をイメージしたプリントを作り、そこに自分の彫りたい模様を並べて製図していきます。

3. 彫刻 (4 時間)

製図が終わったら、いよいよ彫りに入ります。

ここで再度、動画コンテンツ「彫刻刀の使い方」を見せて、彫方の確認をします。

4. ワックスがけ (1 時間)

彫り終わったら、ブラウン色のカラーワックスを塗って磨きます。ワックスを塗る際には、使い古しの歯ブラシで彫った所のすみずみまで綺麗にワックスを塗りこみ、使い古しのタオルで磨きます。何度か繰り返すと、より深みのある光沢が出て来ます。

ワックスは、塗ったら必ず磨いて落とします。塗り忘れや磨き忘れがあると、非常に目立ちます。

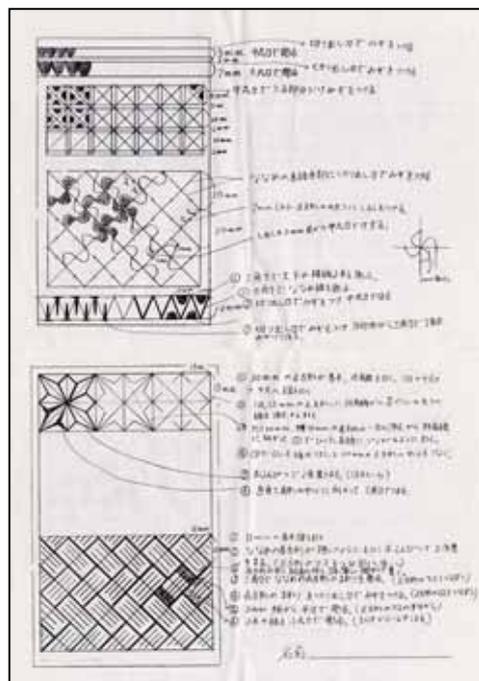
5. 文字盤と針をつけて完成 (1 時間)

ワックスが十分に乾いたら(1 ~ 2日後)、文字盤を貼り付け針を付けます。

文字盤は、ローマ数字とアラビア数字があるのですが、ローマ数字は間違えやすいので、画像で見せてやると良いでしょう。

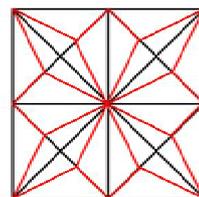
自分だけのオリジナル木彫時計が出来上がりました。

永く使えるものですので、大切に飾っておきましょう!



《 模様の書き方と彫り方 》

この模様の書き方



《 Gif アニメで
模様の書き方を確認 》

